

小児の成長発育と口腔機能の発達に関する調査

研究概要

小児における成長発育と口腔機能の発達に関する疫学的調査を行うことで、その病態を検討します。

対象症例

2018年度および2019年度に豊中市保健所にて3歳6か月児健診を受診したお子さんのうち、4か月児健診および1歳6か月児健診を豊中市保健所にて受診したお子さんを対象者とします。

研究機関名

大阪大学大学院歯学研究科口腔生理学教室、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室

研究目的

生涯にわたり自身の歯で食事をすることは、人生を豊かにすると言っても過言ではありません。生涯を通して健康なお口を維持するためには、むし歯や歯周病などの病気を予防するだけでなく、咀嚼や嚥下などのお口の機能を維持することが重要であることが明らかになってきています。一方で、幼児期におけるお口の機能の獲得や学童期における発達に関しては不明な点が多いです。お口の機能の獲得や発達は、全身の成長発育とともに段階的に進むとされていますが、評価が難しく、明確な基準も確立されていません。本研究では、小児期における口腔の成長発育および口腔機能の発達と全身の成長発育との関連を明らかにすることを目指しています。

研究方法

「対象症例」で記載した小児における4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診におけるお口の診察データ(歯の本数と状態、粘膜の状態、かみ合わせ)や全身とお口の成長発育に関するデータ(既往歴、成長[卒乳の有無、哺乳瓶使用の有無、定額の有無、独歩開始時期など]、子育て、栄養、睡眠、生活リズムなど)を大阪大学大学院歯学研究科口腔生理学教室と小児歯科学教室にて集計します。

研究の意義

小児期における口腔の成長発育や口腔機能の発達と全身の成長発育との関連を明らかにすることを目指しています。

個人情報の扱い

得られたデータは、他の人に漏れないように取扱いを厳重に行います。具体的には、乳幼児健診のデータを豊中市にて匿名化した上で提供いただき、研究責任者のみが厳重に保管します。実際に分析をする研究分担者の手元にあるデータには、それぞれのデータが誰のものであるかは分かりません。また、研究成果を公表することになった際には、調査に参加していただいた方の個人名が特定されないようになっています。

本研究に関する代表連絡先

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 大継 将寿

TEL 06-6879-2962

研究対象者に研究の参加を拒否する権利を与える方法

本研究の対象の方は、2022年3月頃までに、上記問い合わせ先にご連絡いただくことによって本研究への参加を拒否することが可能です。